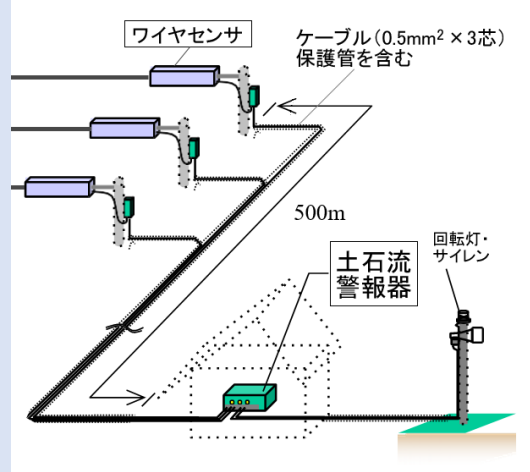


土石流検知システム

- 土石流の予測される場合にワイヤセンサを設置し、ワイヤの移動及び破断を検出することにより土石流の発生を検知します。
- ワイヤセンサの検知信号は、伝送ケーブルを介して土石流警報器に伝送されます。
- 1台で3カ所の危険地域を管理できます。
- 土石流発生を検知すると、警報器本体の内蔵アラームから警報音を発生します。同時に現場に設置された警報器（サイレン及び回転灯）を駆動させる警報駆動接点信号を出力します。
- 観測室と現地センサ間は、常に通電し作動する機構（フェイルセーフシステム）であり3線ケーブルを使用（オプション）すれば伝送ケーブルトラブル（断線等）も検知可能な機能を取り入れています。この機構を採用することによりシステム音信頼性を高めています。



※ 通信ケーブルの埋設がむずかしい時は、「①特定小電力無線システム」、「②地中無線通信システム」が利用できます。

名 称	ワイヤセンサ
型 式	EDZ-004
ワイヤ径	φ1.5mm
ワイヤ長	最長30mまで設置可能
ワイヤ引込力	最大60kgf、ターンバックルで固定
検 出 器	近接スイッチ方式
使用温度範囲	-20~50℃ 防雨型
外形寸法	44(W)×75(H)×360(D)mm

名 称	土石流警報器
型 式	EW-015
接続センサ	3ヶ所まで
警 報 表 示	土石流発生箇所毎で赤ランプ表示
警報アラーム	警報表示時に電子ブザーで連続音
警報サイレン及び回転灯	警報表示時に動作（警報器の出力と接続）
警 報 停 止	押ボタンで停止
警 報 点 検	押ボタンで発生
伝送ケーブルの断線表示	3芯ケーブル使用時にケーブルセンサ毎で黄色ランプ表示
電 源	DC12V 太陽電池（オプション） AC100V（オプション）
使用温度範囲	-10~50℃
外形寸法	190(W)×84(H)×200(D)mm